

取引業務リスク

管理対象	管理内容	本件が重要である理由は？
標準業務手順書	<p>サプライヤーは、顧客の取引処理を行うための手順を説明した、文書化された標準業務手順書（SOP）を策定する必要があります。かかる取引処理には、業務を行うための手動管理、承認限度、上申手順、サービス水準合意などが含まれます。標準業務手順書は、プロセスを実施するチーム内に組み込む必要があり、スタッフは各自の責任に沿ってトレーニングを受ける必要があります。サプライヤーは少なくとも年に1度、すべての標準業務手順書を見直し、更新し、承認するものとします。必要に応じて、基礎となるプロセスに変更が加えられた箇所標準業務手順書を更新し、修正されたプロセスが反映されているようにする必要があります。手順は、作成者とは無関係に十分な権限を与えられた者によって承認され、レビューと承認を示す証拠が保持される必要があります。</p>	<p>顧客の取引の実行中に意図しないエラーが発生し、その結果適時でないまたは不正確な処理が行われ、それによって顧客が損害を受けたり、金銭的または非金銭的な影響が銀行に及んだりするというリスクを回避するため。</p> <p>標準業務手順書を文書化しないと、結果として次のことが起こる恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客の取引を処理する際に、スタッフが自分の責任を認識していない。 バークレイズは、サプライヤーが顧客の取引の処理に関連するリスクに対応するための十分に文書化された手順を備えているという確証を得ることができない場合がある。
顧客取引処理の正確性と完全性	<p>サプライヤーは、取引全体を通じて顧客の取引すべてが正確で完全であるようにする必要があります。サプライヤーは、不正確なまたは不完全な処理を行うリスクを低減するための管理を実施している必要があります。サプライヤーは、以下の予防的および検出的管理を適切に組み合わせて実施することにより、このリスクに対処しなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取引完了前のメーカーチェッカー/二重認証管理。 任務の分離 照合処理 - 取引の重複や誤りを監視するために、関連する総勘定元帳に対して日次で照合される顧客の記帳および記録。 例外レポートは、事前に定められた頻度に従って作成する必要があり、特定された例外は、所定の期間内に適切な手続きによりレビューを行う必要があります。レビューおよび手続きの証拠を保持する必要があります。 	<p>顧客の取引の実行中に意図しないエラーが発生し、その結果不正確な処理が行われ、それによって顧客が損害を受けたり、金銭的または非金銭的な影響（名声の毀損、規制上の罰金/非難など）が銀行に及んだりするというリスクを回避するため。</p> <p>この要件が実施されない場合、Barclays は、サプライヤーが顧客取引全体を通じて維持される顧客取引の完全性を保証するために十分な管理を設けているという確証を得ることができない場合があります。</p>
顧客取引処理の品質保証	<p>定期的な独自の品質保証確認が行われている場合、サプライヤーは検査の頻度、サンプルの寸法および選択肢、製品またはプロセスのリスク評価、許容度または「合格」率、および文書による結果提出を含むフレームワークが必要です。検査は、処理の担当者とは別で実施しなければなりません。品質保証を実施する場合、サプライヤーは、少なくとも年1回、文書によるフレームワークが整備され、</p>	<p>顧客の取引の実行中に意図しないエラーが発生し、その結果適時でないまたは不正確な処理が行われ、それによって顧客が損害を受けたり、金銭的または非金銭的な影響（名声の毀損、規制上の罰金/非難など）が銀行に及んだりするというリスクを回避するため。</p>

	見直され、最低要件を満たしていることを証明する必要があります。	
顧客取引全体を通じた承認	<p>サプライヤーは、取引の価値と性質に応じて、権限に制限を設けそれを文書化し、取引は正当な権限を持つ同僚が処理し、承認するようにしなければなりません。</p> <p>サプライヤーは、少なくとも年1回、またはプロセスに変更があった場合にそれらが適切であることを確認するために、権限のマニュアル制限とシステムベースの制限の両方を見直さなければなりません。</p>	<p>顧客の取引の実行中に意図しないエラーが発生し、その結果不正確な処理が行われ、それによって顧客が損害を受けたり、金銭的または非金銭的な影響（名声の毀損、規制上の罰金/非難など）が銀行に及んだりするというリスクを回避するため。</p> <p>この要件は、取引全体を通じて付与される異なるレベルの権限とビジネスで確立され承認された権限の委譲を整合させて、顧客取引指示の妥当性を確認するためのものです。</p>
顧客の取引処理の適時性	<p>サプライヤーは、パークレイズとの合意に基づき、必要に応じて監視される SLA で時間制限のあるプロセスの手順を特定し、文書化する必要があります。サプライヤーは処理遅延のリスクを低減し、時間制限のある活動が適切に監督されるようにするための管理を実施している必要があります。サプライヤーは、以下の予防的および検出的管理を適切に組み合わせて実施することにより、このリスクに対処しなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス水準合意 (SLA) キュー監視やチェックリストなどのタスク完了コントロール。 	<p>顧客の取引の実行中に意図しないエラーが発生し、その結果適時でない処理が行われ、それによって顧客が損害を受けたり、金銭的または非金銭的な影響（名声の毀損、規制上の罰金/非難など）が銀行に及んだりするというリスクを回避するため。</p> <p>この要件が実施されない場合、パークレイズは、サプライヤーが顧客取引全体を通じて維持される顧客取引の適時の実行を保証するために十分な管理を設けているという確証を得ることができない場合があります。</p>